保 証 書（持込修理）

本書は、本書記載内容（下記規定）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

品番		FDR-800
S/No.		
お買い上げ日		年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間		対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL（　　）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）同梱品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1860-B

Yupiteru

フォークリフトレコーダー

FDR-800

取扱説明書

12V、24V車対応

このたびは、弊社製品のフォークリフトレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を最大60秒間記録します。

⚠注 意

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源 OFF してから SD カードを抜いて保管してください。
- 電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源 OFF したことを確認し、SD カード の抜き差しを行ってください。

ご注意

SD カードは、数か月に一度フォーマットが必要です。

SD カードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。
安定してお使いいただくために、数か月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

14 ページ 録画について

16 ページ 本体への接続方法

30 ページ 本機のエラーの症状と対処法

35 ページ 専用ソフトの画面説明

51 ページ Gセンサー感度を設定する

59 ページ 映像記録時間の目安

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 7
各部の名称と働き …… 9
1. 同梱品 …… 10
2. 別売品 …… 10
SD カードの装着 / 取り外し …… 11
1. SD カードを本機へ装着する …… 11
2. SD カードを本機から取り外す …… 13

基礎知識

録画について …… 14
1. 常時録画 …… 14
2. イベント記録
（G センサー記録とジャイロセンサー記録）… 15
3. マルチトリガーについて …… 15
4. 上書きモードについて …… 15

設置と準備

本体への接続方法 …… 16
1. 接続方法 …… 16
2. ヒューズの交換について …… 18
取り付けかた …… 19
1. メインカメラ（IP56 準拠）の取り付け … 20
2. センサユニットの取り付け …… 22
3. 本体の取り付け …… 23
4. オプションサブカメラの取り付け …… 23
専用ソフトのインストール …… 24
1. インストールの準備 …… 24
2. インストールする …… 25
動作テスト …… 28
1. 専用ソフトでの準備 …… 28
2. 本機の準備 …… 29
3. テスト記録の確認 …… 31

専用ソフト

専用ソフトの使いかた …… 33
1. バックアップ（コピー）について …… 33
2. 録画データの準備 …… 33
3. 画面説明 …… 35
4. 表示エリアの操作 …… 36
記録した映像を再生する …… 38
1. 録画データを再生する（イベント記録）… 38
2. 録画データを再生する（常時録画）…… 40
記録した映像を保存する …… 42
1. バックアップ …… 42
2. 動画変換 …… 43
3. 静止画変換 …… 44
記録した映像を印刷する …… 45
履歴記録を見る …… 46
設定を変更する …… 48
1. 記録設定 …… 48
2. システム …… 50
3. 日時設定 …… 50
4. 衝撃感度設定 …… 51
5. SD カードフォーマット …… 52
6. 録画データ削除 …… 54
7. 記録設定データ初期化 …… 55
8. バックアップ …… 55
インフォメーション …… 55

その他

故障かな?と思ったら …… 56
仕様 …… 58
映像記録時間の目安 …… 59
1. 録画時間 …… 59
2. イベント記録件数 …… 59
オプションサブカメラ併用時のイベント記録時間 …… 60
+（プラス）ネジに変更する …… 61
アフターサービス …… 62
保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- 必ず実行していただく「強制」内容です。
- してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ☛ 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- 内部に異物が入った
- 水に浸かった
- 煙が出ている
- 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
☛P.62「アフターサービス」

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

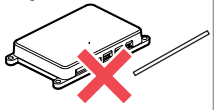
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- 湿気やほこり、油煙の多い所
- ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注 意

結露したまま使い続けないでください。

故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。

落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

本機は精密機械です。

静電気 / 電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

● 取り付けについて

⚠ 警 告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、車両の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。

本機の脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源ケーブルについて

⚠ 警 告

取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

コードの接続は＋－の極性をよく確かめて確実に行ってください。

異常過熱や発火の原因となります。

取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。

車両の電装品（ブレーキ、ライト、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

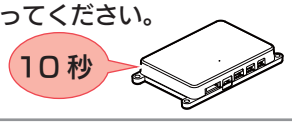
指定された電源電圧車両以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

バッテリーに直接接続しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

● SDカードについて

⚠ 警 告

SD カードの出し入れは、車両のエンジンを OFF 後、10 秒待ってから行ってください。



SD カードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 本機の操作・運転について

⚠ 警 告

走行中は運転者による操作をしないでください。
このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

運転中にカメラ等を注視しないでください。
前方不注意による事故の原因になります。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注 意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などでふくとキズの原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中にカメラ等を注視したり、操作しないでください。
- 事故発生時は、録画データが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
  ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
  ※長期間使用しなかった場合。

■ 取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 走行中に本機が落下しないように市販品のコードクリップなどで固定し、取り付けてください。

■ 撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 電源ケーブルに関する注意

- ヒューズケーブルは、必ず同梱品をご使用ください。
- ヒューズケーブルのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ (2A) と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ SD カードに関する注意

- SD カードは必ず同梱品か別売品を使用してください。市販品の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
  本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、専用ソフトでの [SD カードフォーマット] を行うことをお勧めします。
- SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

■ 使用前の注意

①☛P.24 を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
②専用ソフトのファイルメニュー [ツール]→[記録設定] から各種の設定を確認し、[OK] をクリックしてください。

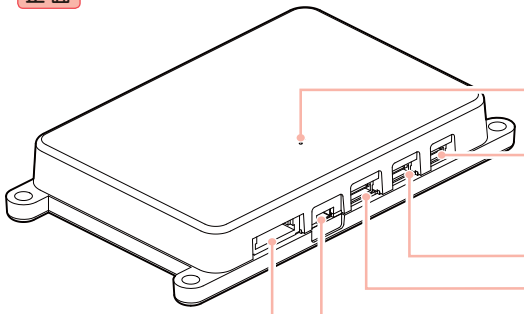
■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

各部の名称と働き

■ 本体

正面



ブザー
イベント記録時などに音が出ます。

センサユニットコネクタ
同梱品のセンサユニットを接続します。
(☛P.22)

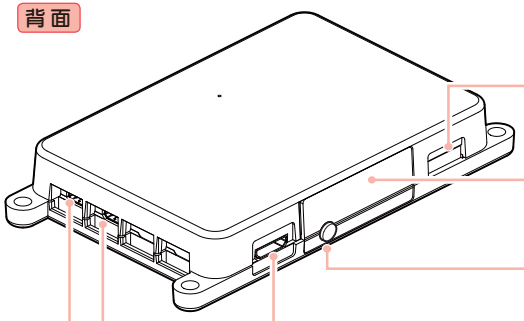
本機では使用しません。

本機では使用しません。

本機では使用しません。

電源コネクタ
同梱品の電源ケーブル、または別売品の OP-WA294を接続します。(☛P.16)

背面



本機では使用しません。

SDカードカバー
SDカードをカバーを開けて挿入します。
(☛P.11、P.12)

キャップ
同梱品の+(プラス)ネジに変更することができます。(☛P.61)

HD out 端子
市販品のケーブルを接続すると、現在のカメラの映像を接続先に出力します。
オプションサブカメラ併用時には、左側にメインカメラの映像、右側にオプションサブカメラの映像を表示します。
※ケーブル接続中は録画をすることはできません。
※メインカメラの映像とオプションサブカメラの映像を左右反転して表示することはできません。

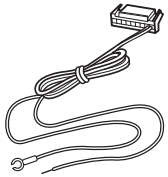
カメラコネクタ2
別売品のOP-CM201WPを接続します。
(☛P.23)

カメラコネクタ1
同梱品のメインカメラを接続します。
(☛P.20)

1. 同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

■ 電源ケーブル(約 3 m) ……1



■ ヒューズケーブル ……1
■ センサユニット(約 4m) ……1
■ メインカメラ(IP56 準拠) ……1
■ カメラケーブル(約 3m) ……1
■ SD カード(8GB) ……1
■ 専用ソフト ……1
(同梱品の SD カード内に収納)
■ 両面テープ一式 ……1
■ タイラップ ……2
■ +(プラス)ネジ(M2 × 5 mm)‥1
■ 取扱説明書・保証書(本書) ‥1

・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、SD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

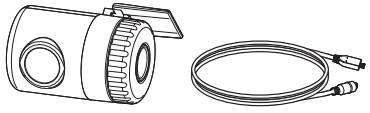
・SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
・SD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

※ 同梱品・別売品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

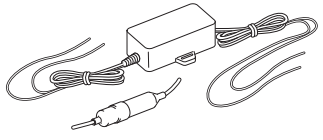
2. 別売品

■ SD カード(8GB) OP-SD08 本体 5,000 円 + 税
■ SD カード(16GB) OP-SD16 本体 10,000 円 + 税
■ SD カード(32GB) OP-SD32 本体 20,000 円 + 税
※ 同梱品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。

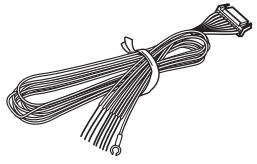
■ オプションサブカメラ(IP56 準拠) OP-CM201WP 本体 20,000 円 + 税
本体……1
両面テープ……1
カメラケーブル(約 3 m) ……1
同梱品と同等のカメラ・カメラケーブルです。
オプションサブカメラを接続することで 2 カメラの同時記録が可能です。(☛ P.23)



■ フォークリフト用電源ユニット
OP-DC48 本体 10,000 円 + 税
本体……1
ヒューズケーブル……1
31V-76V から 12V に変圧できます。



■ 外部トリガ / 汎用入力ケーブル
OP-WA294 本体 2,000 円 + 税
接続することで汎用入力情報を記録できます。
(☛ P.16)



SD カードの装着 / 取り外し

※ 同梱品の SD カードまたは別売品の SD カード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

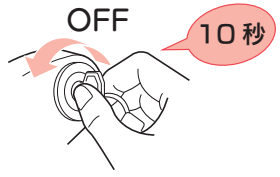
⚠ 注 意

・車両のエンジンを OFF にしてから行ってください。
・SD カードは一方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。

1. SD カードを本機へ装着する

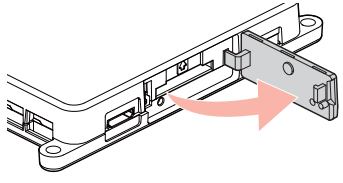
1-1 車両のエンジンを OFF にする

エンジンを OFF にしてから 10 秒間待ちます。



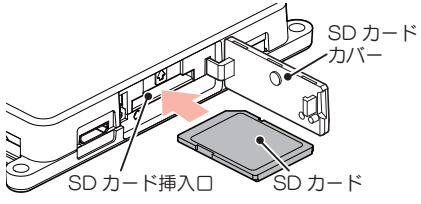
1-2 SD カードカバーを開く

矢印の方向に引いて開きます。

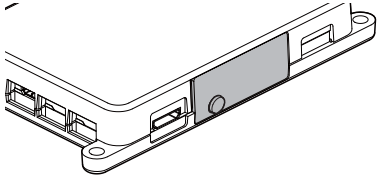


1-3 SD カードを挿入する

SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



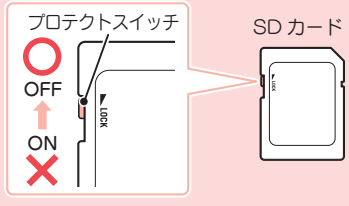
1-4 SD カードカバーを閉める



SD カードカバーはしっかり閉めてください。閉まっていないと録画が開始できません。

SD プロテクトスイッチについて

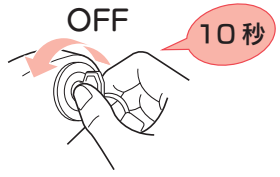
SD カードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



2. SD カードを本機から取り外す

2-1 車両のエンジンを OFF にする

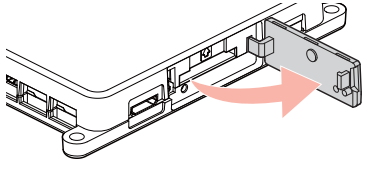
エンジンを OFF にしてから 10 秒間待ちます。



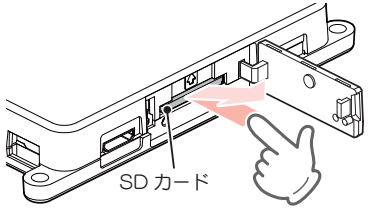
※ エンジンを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。
SD カードの抜き差しは、エンジン OFF 後 10 秒以上経ってから行ってください。

2-2 SD カードカバーを開く

矢印の方向に引いて開きます。



2-3 SD カードを押し込み、カードが飛び出してから引き抜く

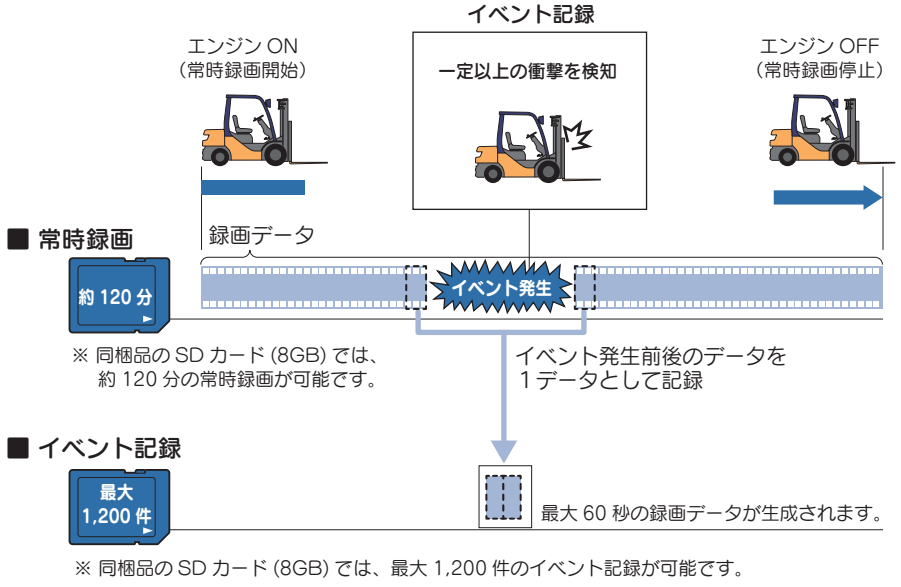


※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時 + イベント] があります。
専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(☛ P.48)

※ 初期値は [常時 + イベント] に設定されています。



1. 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像を SD カードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(☛ P.48)

- **録画可能時間**
  初期値(30 コマ / 秒、1080P HD)で、同梱品の SD カード(8GB)に約 120 分の常時録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.59「録画時間」)
- **上書きモード**
  初期値では、上書きモードが [ON] のため、120 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.50「上書きモード」)

2. イベント記録(G センサー記録とジャイロセンサー記録)

イベント記録には G センサー記録とジャイロセンサー記録があります。
イベント記録時はビープ音が鳴り、記録が行われます。

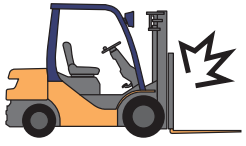
※ 前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。(☛ P.48)
※ 記録時の警報ブザーは設定で OFF にすることができます。(☛ P.50)
※ 録画コマ数を [2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時] に設定した場合、イベント記録コマ数は [1 コマ / 秒] になります。(☛ P.49)

- **録画データ構成**
  1 データあたり最大 60 秒(イベント発生前 50 秒とイベント発生後 10 秒)で生成します。
- **最大記録件数**
  初期値(前後 10 秒(20 秒))で、同梱品の SD カード(8GB)に 360 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.59「イベント記録件数」)
- **上書きモード**
  初期値では、上書きモードが [ON] のため、記録件数が 360 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.50「上書きモード」)

■ イベント記録(G センサー記録・ジャイロセンサー記録)

センサユニットの G センサー・ジャイロセンサーが一定の衝撃を検知した場合には [イベント記録] として前後の映像を SD カードに記録します。

一定以上の衝撃を検知



トリガ(映像を記録するきっかけ)の種類
衝撃(G センサー)
急発進 / 急ブレーキ(G センサー)
急ハンドル(G センサー)
急旋回(ジャイロセンサー)

※ 衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃 , など」と記録されます。

3. マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2 回目以降の衝撃も連続して記録可能です。

※ マルチトリガー検知後は、設定されている時間 (例 : 8 秒間) 記録します。

■ 例 : イベント記録時間の設定が 12 秒 / 8 秒の場合

4. 上書きモードについて

上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、「ピーピーピーピー」と 4 回ビープ音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。(☛ P.50)

本体への接続方法

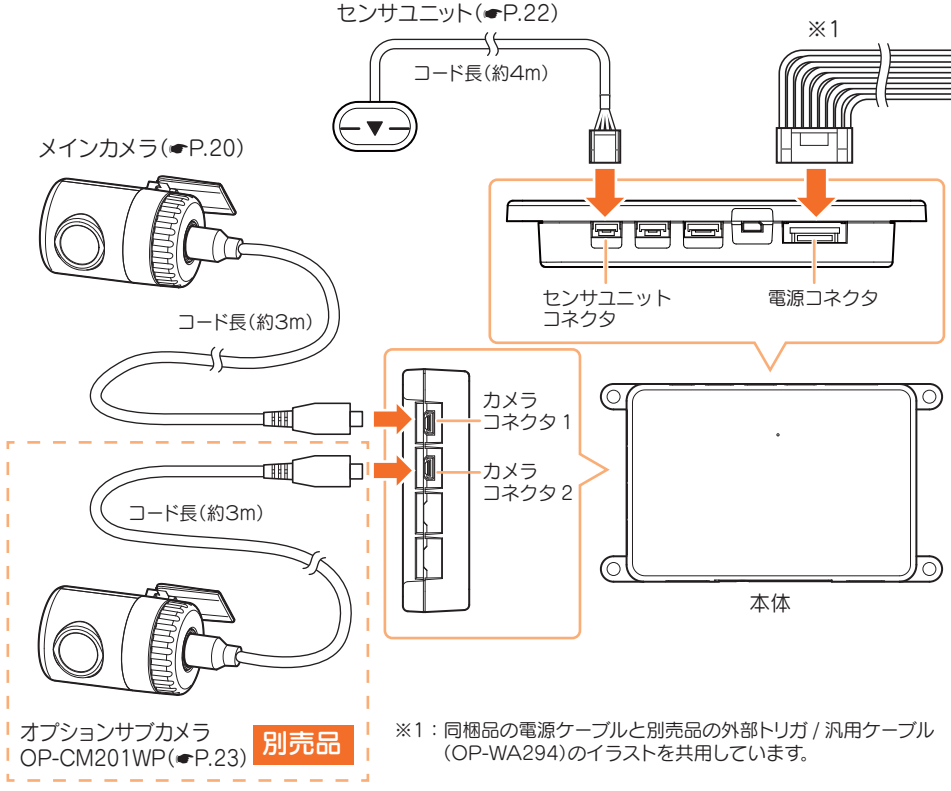
接続作業の前に…

作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

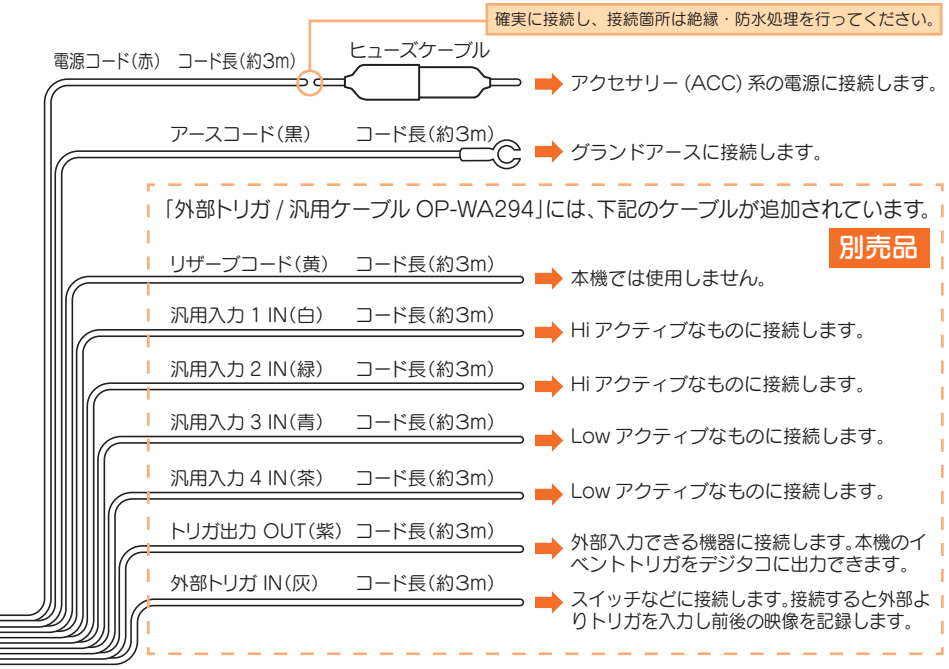
※ ラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. 接続方法

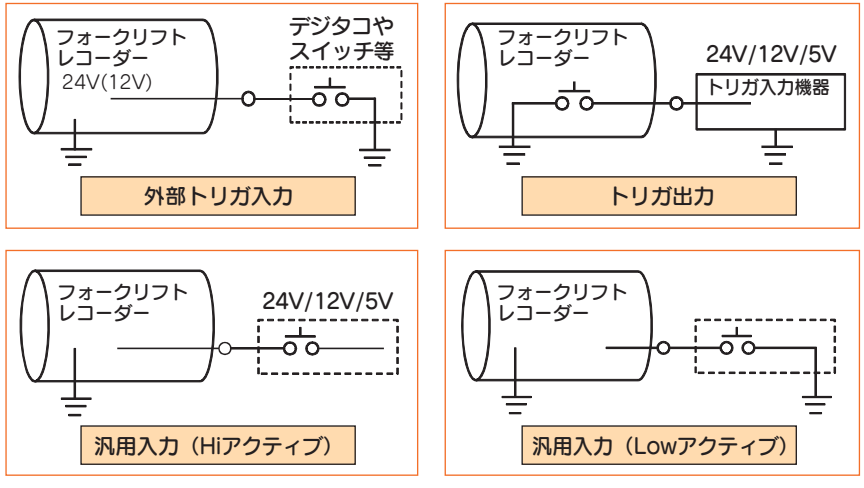
・下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
・電源コード（赤）は、必ずエンジンキーのアクセサリー ON/OFF 操作と連動して電源がON/OFF する配線に接続してください。
・アースコード（黒）は、グランドアースに接続してください。
・走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。
・別売品の「外部トリガ / 汎用入力ケーブル（OP-WA294）」を接続する場合、トリガ出力にACC など、電源や別の出力信号を接続しないでください。
トリガ出力：オープンコレクタで最大 10mA



※1：同梱品の電源ケーブルと別売品の外部トリガ / 汎用ケーブル（OP-WA294）のイラストを共用しています。



■ 別売品の「外部トリガ / 汎用ケーブル」を接続する場合、下記の論理回路を接続します。



バックアップ機能について

重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、録画中の映像の破損を防いで保存します。

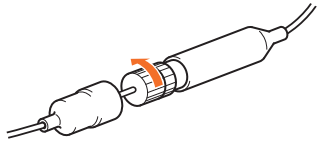
2. ヒューズの交換について

接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、ヒューズケーブルのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

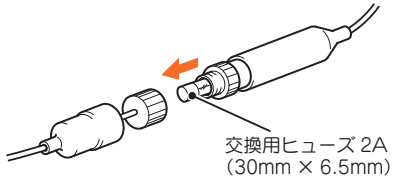
・接続コード類が外れていないかを確認してください。
・下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
・ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

2-1 ヒューズケーブルのカバーを外す

2-2 ヒューズケーブルのフタを左に回し開く



2-3 ヒューズケーブルからヒューズを取り出す



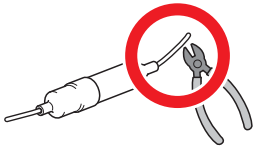
交換用ヒューズ 2A
(30mm × 6.5mm)

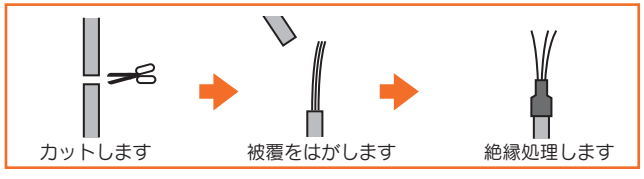
※ 交換時にヒューズを落下させないようにしてください。

■ ヒューズケーブルが長い場合は…

車両に合わせて切断することができます。また、同梱品の電源ケーブル、別売品の OP-WA294 も同様に切断することができます。

※ カメラケーブルは切断しないでください。



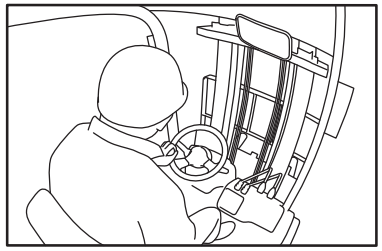


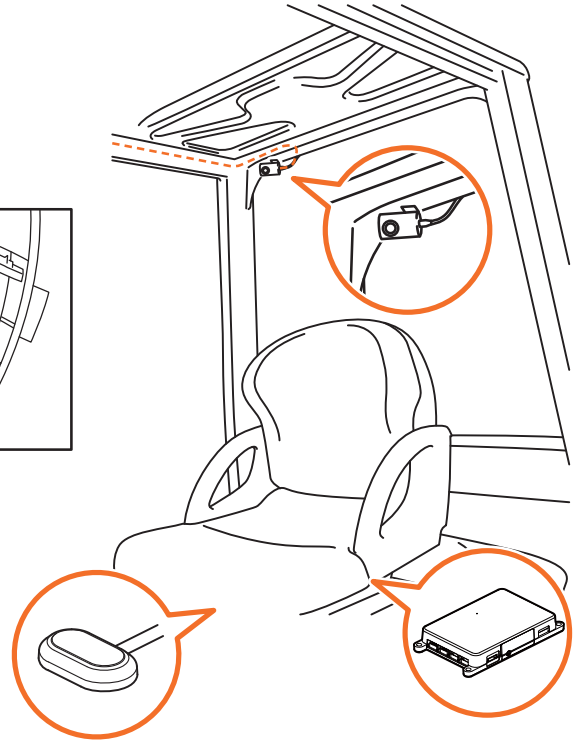
取り付けかた

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
・視界の妨げにならないように取り付けてください。
・ルームミラー等の操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
・車両の操作や動作の妨げにならない場所に取り付けてください。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機は使用時に温度が上がるため、取り付け位置にはご注意ください。



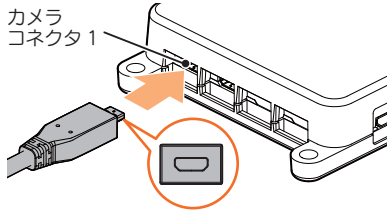


1. メインカメラ(IP56 準拠)の取り付け

取り付け場所の角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。(特許第4712858号)
あらかじめブラケットや、取り付け面の汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付け、車両外から貼り付け面にムラが無いことを確認してください。

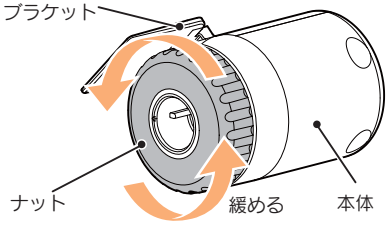
■ 例：ヘッドガード

1-1 カメラケーブルを本体のカメラコネクタ 1 に挿し込む

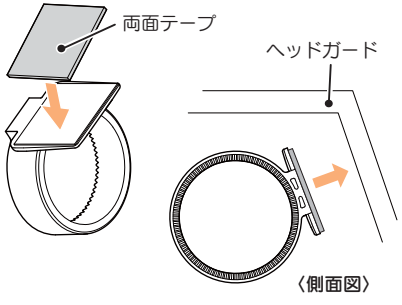


※ カメラコネクタ 1 にメインカメラが接続されていない場合、録画できません。同梱品のカメラケーブルとメインカメラを必ず取り付けてください。
※ カメラケーブルは左図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、カメラケーブルやメインカメラの故障の原因となります。

1-2 ナットを外し、本体からブラケットを取り外す

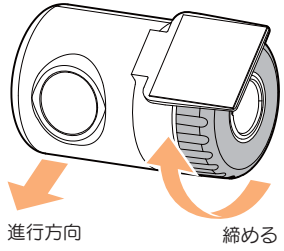


1-3 ブラケットに同梱品の両面テープを貼り付け、ヘッドガードに取り付ける



※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

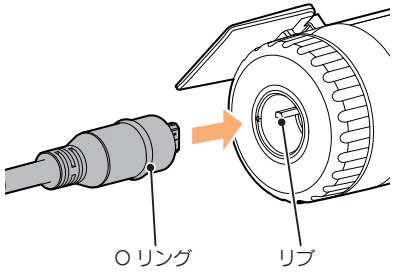
1-4 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する



※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

1-5 カメラケーブルを、カメラケーブル挿入口へ挿し込む

カメラケーブルの溝と挿入口のリブを合わせ、下図の方向へ正しく入れてください。



※ 無理に誤った方向に入れた場合、カメラケーブルやメインカメラの故障の原因となります。
※ O リングがしっかりと挿入されていないと防塵 / 防水機能が損なわれてしまいます。

IP とは IEC(国際電気標準会議)規格で定められた防水や防塵に対する規格です。

IP56
└ IP コード文字

第一特性数字 5 … 粉塵が内部に侵入することを防止。また若干の侵入があっても正常の動作を阻害することがない。
第二特性数字 6 … あらゆる方向からの強い噴流水によっても、有害な影響を受けない。
※完全防水ではありません。

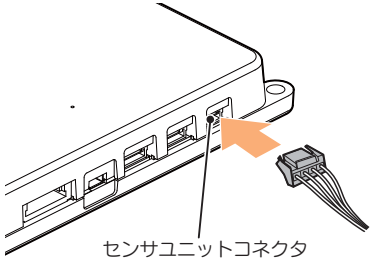
2. センサユニットの取り付け

センサユニットを初めて取り付けたときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出(☛P.52)を必ず行ってください。

※ 水がかかったり、エアコンやヒーターなど熱風が当たる場所には取り付けないでください。
※ 走行中の振動が伝わるフレーム部などに取り付けてください。
※ 手や足などが当たらない場所に取り付けてください。

■ 例：運転席のシート下

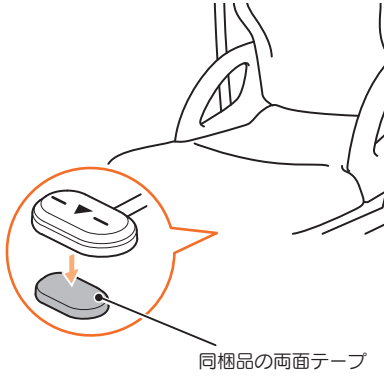
2-1 センサユニットを本体のセンサユニットコネクタに挿し込む

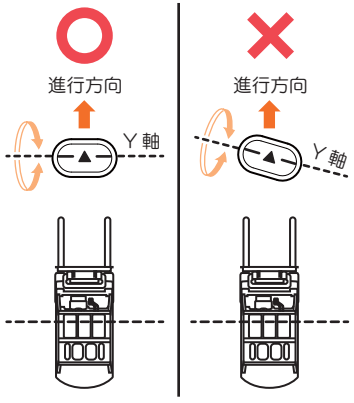


※ センサユニットは左図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、センサユニットや本体の故障の原因となります。

2-2 本体のマーク(▲)を車両の前方向に向け、運転席のシート下の金属部など車両の直接振動する場所に取り付ける

※ 車両とセンサーのＹ軸を合わせてください。Ｙ軸があっていれば、Ｙ軸基準に約 80˚まで回転させても問題ありません。



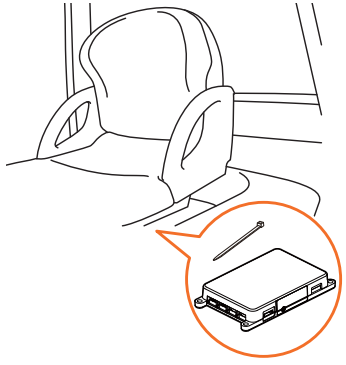


3. 本体の取り付け

※ 走行中の振動で外れないように固定してください。
※ 万一脱落すると危険です。ブレーキペダルやアクセルペダルの上には、絶対に設置しないでください。
※ 市販品の両面テープなどを使用する場合は、必ず水平な面の上に設置してください。

■ 例：運転席のシート下

3-1 本体を同梱品のタイラップで運転席のシート下に固定する



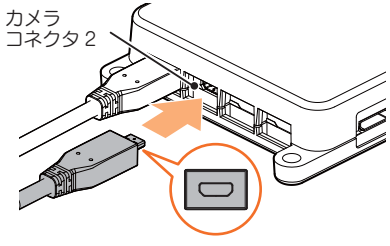
※ 本体にはマイクが内蔵されているため、密閉された場所などへ設置すると録音ができなくなります。

4. オプションサブカメラの取り付け

オプションサブカメラ(OP-CM201WP)は別売品となります。別途ご購入いただくことで、2 カメラの同時記録が可能です。

※設定の変更を行わないと撮影ができません。(☛ P.50)
※オプションサブカメラの設定を [無効](☛ P.50)にした場合、オプションサブカメラは取り外してください。

4-1 カメラケーブルを本体のカメラコネクタ 2 に挿し込む



※ オプションサブカメラケーブルは左図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、オプションサブカメラケーブルやオプションサブカメラの故障の原因となります。

4-2 以下の作業はメインカメラ(IP56準拠)の取り付け「1-2」からと同様になります。(☛ P.20)

専用ソフトのインストール

本機で記録した映像は、専用ソフトを使い、パソコンで見ることができます。
下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS：Microsoft Windows XP または 7
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ：2GB 以上

■ 画像処理機能を動作させる場合
OS：Microsoft Windows XP または 7
CPU: Core i5 相当、3.0GHz 以上
メモリ：8GB 以上

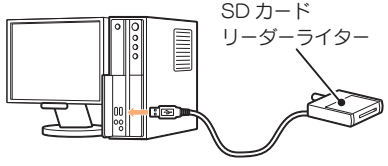
※ 誤って専用ソフトを削除した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ 再生するファイルの種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ 専用ソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。

1. インストールの準備

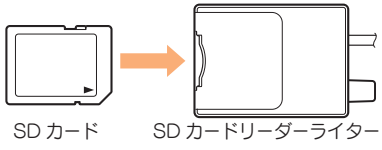
⚠注 意

・パソコンや SD カードリーダーライターから SD カードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターに同梱品の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SD カードを破損させてしまう恐れがあります。

1-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する

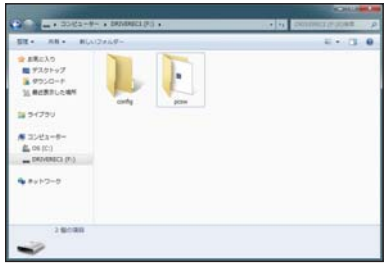


1-2 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

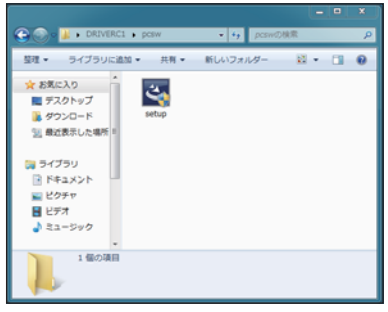
1-3 [DRIVEREC1] と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダをダブルクリックする



※ ドライブの展開は、エクスプローラーなどを起動して行ってください。

2. インストールする

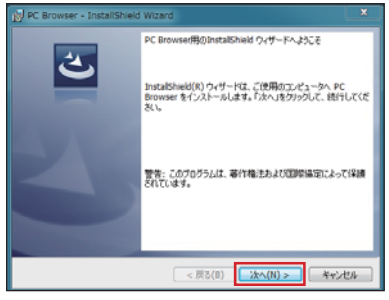
2-1 [setup.exe] をダブルクリックする



※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。

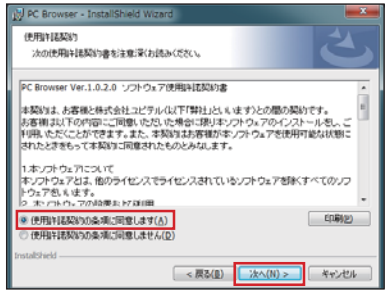
2-2 セットアップウィザードの開始

[次へ] をクリックします。



2-3 使用許諾契約書に同意する

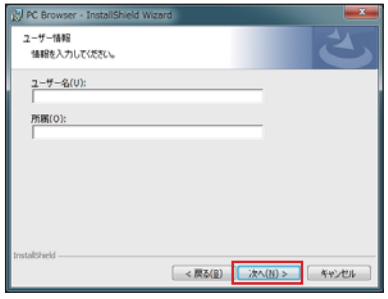
[使用許諾契約条件に同意します] にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



※ チェックを入れていない状態では、[次へ] をクリックすることはできません。

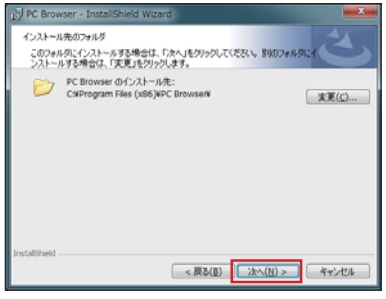
2-4 ユーザー情報を入力する

任意でユーザー情報を入力し、[次へ] をクリックします。



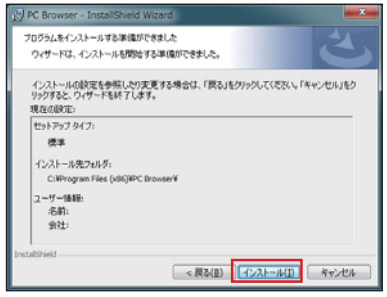
2-5 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ] をクリックします。

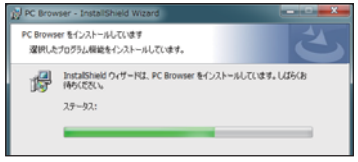


2-6 インストールの準備完了

[インストール] をクリックします。

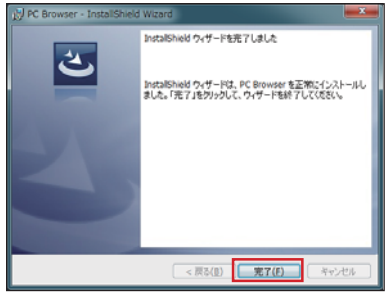


※インストール画面



2-7 インストールの完了

[完了] をクリックします。



専用ソフトのバックアップについて

パソコンにソフトがインストールされていれば、専用ソフトでフォーマットすることにより、SD カード内にプログラムを生成することが可能です。(☛P.52「SD カードフォーマット」)
また弊社ホームページ内でダウンロードすることも可能です。
弊社ホームページ　http://www.yupiteru.co.jp/

設置と準備

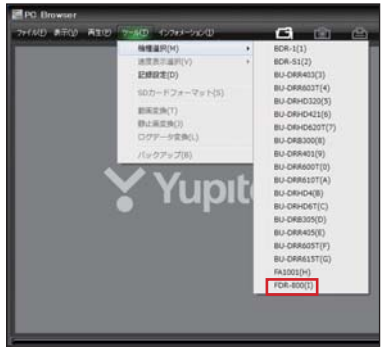
動作テスト

本機は SD カードの設定を読み込み、動作します。ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。テストを行わない場合、正常に動作しないことがあります。

1. 専用ソフトでの準備

1-1 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

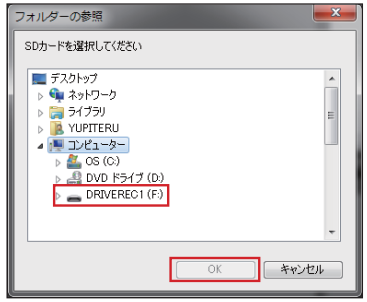
1-2 ファイルメニューの [ツール] → [機種選択] から [FDR-800] を選択する



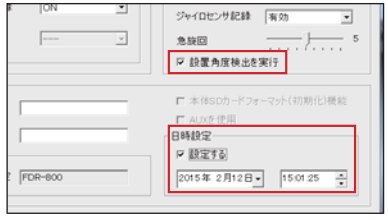
※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

1-3 ファイルメニューの [ツール] → [記録設定] を選択する

1-4 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



1-5 [設置角度検出を実行] と日時設定の [設定する] に ☑ を入れ、日時を設定する



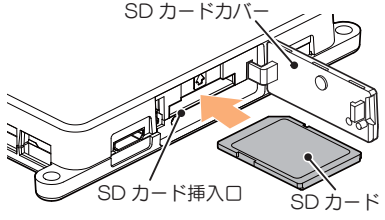
※ 日時設定は現時刻ではなく、次に本体を電源 ON する日付や時刻を設定してください。

1-6 [SD カードへ保存] をクリックする

1-7 パソコンから SD カードを取り出す

2. 本機の準備

2-1 設定済みの SD カードを挿入する



· SD カードを挿入するときは…
☛ P.11「SD カードの装着 / 取り外し」

SD カードカバーはしっかり閉めてください。閉まっていないと録画が開始できません。

設置と準備

2-2 車両のエンジンを ON する

本機に電源が供給されると、録画が開始されます。

※ 本機から『ピー』と鳴る場合は、SD カードの挿入を確認してください。
※ 設置角度検出を行いますので、平らな場所でエンジンを ON し、10 秒間車両を移動させないでください。

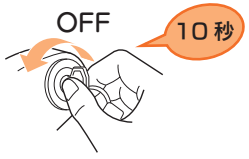
■ エラーの症状と対処法

警告音	症状・対処法
『ピー』と鳴る	・**SD カードが挿入されていない。** 同梱品の SD カードまたは、別売品の SD カードを挿入してください。 ・**SD カードカバーがしっかり閉まっていない。** しっかり SD カードカバーを閉めてください。 ・**メインカメラが本体に接続されていない。(メインカメラのみ使用時)** メインカメラをカメラケーブルで本体に接続してください。(☛ P.20)
『ピーピーピー』と鳴る	・**同梱品の SD カードのプロテクトスイッチが ON(書込み禁止)になっている。** 車両のエンジンを OFF にし、10 秒以上経ってから同梱品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にしてから再度挿入してください。(☛ P.13) ・**本機専用以外の SD カードが挿入されている。** 車両のエンジンを OFF にし、10 秒以上経ってから同梱品の SD カードを抜き取り、同梱品の SD カードもしくは別売品の SD カードを挿入してください。
『ピピピピピ』と鳴る	・**センサユニットが本体に接続されていない。** センサユニットを本体に接続してください。(☛ P.22) ※ 専用ソフトの設定が「G センサ記録 : [無効]、ジャイロセンサ記録 : [無効]」になっている場合、センサユニットが接続されていなくても警告音は鳴りません。 ・**メインカメラまたはオプションサブカメラが本体に接続されていない。(オプションサブカメラ併用時)** メインカメラまたはオプションサブカメラを本体に接続してください。(☛ P.20、23) ※ 専用ソフトの設定が「サブカメラ : [無効]」になっている場合、オプションサブカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。

準備が終了したら…
本機の準備が終了したら、テストとして映像を記録します。

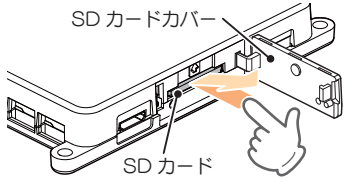
2-3 車両のエンジンを OFF にする

エンジンを OFF にしてから 10 秒間待ちます。



※ エンジンを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。
SD カードの抜き差しは、エンジン OFF 後 10 秒以上経ってから行ってください。

2-4 本機から SD カードを取り外す



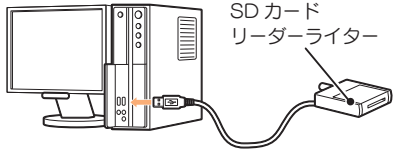
・**SD カードを取り外すときは…**
☛ P.11「SD カードの装着 / 取り外し」

テスト映像を記録したら…
専用ソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

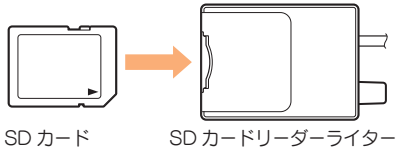
3. テスト記録の確認

※ 本ソフトは、本機専用のソフトです。本機以外の機種で記録した映像は読み込むことができません。

3-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する

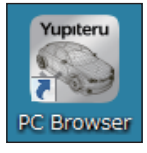


3-2 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



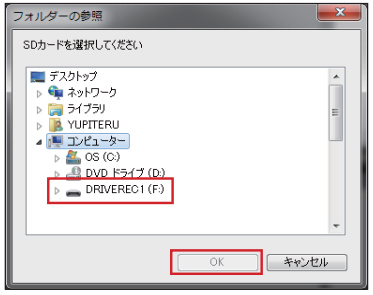
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

3-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



3-4 (フォルダ)をクリックする

3-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※ [ファイル]をクリックし [データフォルダを指定]から、[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

3-6 見たい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。
※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

3-7 [読み込み] をクリックする

※ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

テスト記録を確認したら…

テスト記録に問題が無ければ、[記録設定](☛ P.48)をお好みの設定に変更して、SD カードを本機に戻してご使用を開始してください。
問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

SD カードは数ヵ月に一度フォーマットが必要です。

SD カードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために、数カ月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。(☛ P.52「SD カードフォーマット」)

専用ソフトの使いかた

1. バックアップ(コピー)について

専用ソフトは同梱品の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

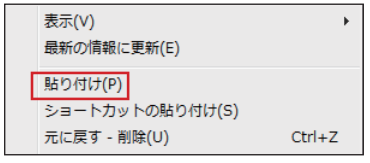
例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

1-1 [DRIVEREC1] と表示されているドライブを展開する

※ ドライブの展開は、エクスプローラーなどを起動して行ってください。

1-2 [pcsw] フォルダ上で右クリックし、[コピー] を選択する

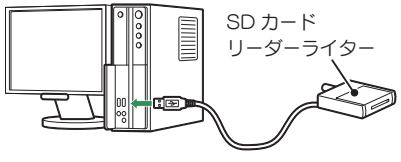
1-3 デスクトップ上で右クリックし、[貼り付け] を選択する



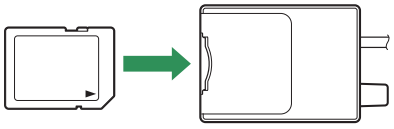
・デスクトップに [pcsw] フォルダがコピーされます。

2. 録画データの準備

2-1 SD カードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



2-2 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



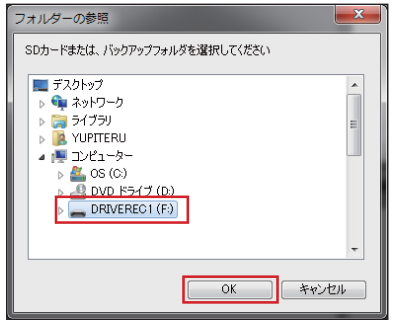
SD カード　　SD カードリーダーライター

※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

2-3 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

2-4 (フォルダ)をクリックする

2-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※ [ファイル]をクリックし [データフォルダを指定]から、[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

3. 画面説明

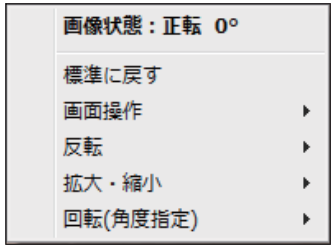
No.	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		静止画に変換します。
		印刷をします。
		動画変換します。
		データのバックアップをします。
		本機では使用しません。
		記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。 (☛ P.36「表示エリアの操作」)
③	音量 / 表示切替ボタン	音量の調節 /1 画面表示、16 分割表示の切替 サブカメラ操作 (オプションサブカメラ接続設定時)
④	汎用入力表示	増設信号の入力状態を表示します。(外部トリガ / 汎用入力ケーブル接続時)
⑤	加速度表示	記録されている衝撃 (加速度) の値を、前後 (X 方向 : 赤色)、左右 (Y 方向 : 黄緑色)、上下 (Z 方向 : 青色)、回転(ω方向 : 黄色)で表示します。
⑥	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。
⑦	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑧	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑨	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

4. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで [画面表示エリアのメニュー] を表示します。



・**画像状態**
画像の回転角度を表示します。

・**標準に戻す**
拡大した画像や回転・反転した画像を初期表示に戻します。

・**画面操作**
画像の範囲拡大、移動、回転の操作ができます。

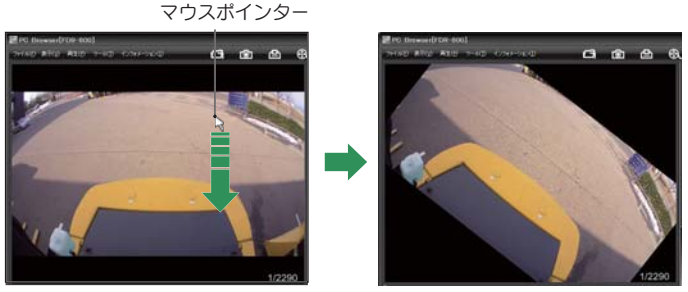
〈範囲拡大〉
範囲拡大に ☑ を入れ、範囲を指定することで、拡大表示します。
マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグします。

点線部分が範囲選択部分です。

〈移動〉
移動に ☑ を入れ、拡大表示した画像の表示位置を移動します。
マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。

※ 拡大表示していない場合、[画面移動] はできません。

〈回転〉
回転に ☑ を入れ、画像を回転します。
マウスの左ボタンでドラッグし、回転します。



表示を元に戻す場合は、右クリックで「画像表示エリアメニュー」を表示させ、[標準に戻す] を選択します。

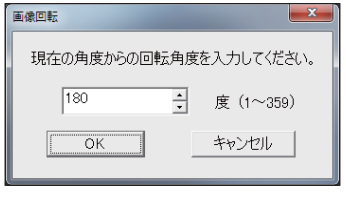
・**反転**
[左右反転] をクリックすると、画像を左右に反転します。
[上下反転] をクリックすると、画像を上下に反転します。

左右反転

上下反転

・**拡大・縮小**
[拡大] をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を 200%拡大します。
[縮小] をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を 50% 縮小します。

・**回転(角度指定)**
[時計回り] をクリックし、角度を入力すると画像が時計回りに回転します。
[反時計回り] をクリックし、角度を入力すると画像が反時計回りに回転します。



記録した映像を再生する

1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする

1-2 見たい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。
※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

1-3 [読み込み] をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
※ [ファイル]をクリックし [読み込み]から [イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。
※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-4 再生する

▶ ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生します。

■ 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。

・[再生]をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止]をクリックすると、クリックした動作を行います。
・記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生]や[早戻し]のボタンをクリックしてください。

■ ◀▶ や ◀◀▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変更できます。

・◀▶ を 1 回クリックすると 1 倍速(通常速度)、2 回クリックすると 0.5 倍速(スロー)で [再生] または [逆再生] できます。
・◀◀▶▶ を 1 回クリックすると 2 倍速、2 回クリックすると 4 倍速、3 回クリックすると 8 倍速、4 回クリックすると 16 倍速で [早送り] または [早戻し] できます。

■ ▭ ボタンをクリックすると [1 画面表示] と [複数カメラ表示] を切り替え、▦ ボタンをクリックすると [16 分割表示] を表示します。

・[表示] → [画面表示] から [1 画面表示] [16 分割表示] [複数カメラ表示] をクリックしても同様の動作となります。
・サブカメラ(オプションサブカメラ)の録画データがある場合…
▭ ボタンをクリックすると、「カメラ 1 表示」と「カメラ 2 表示」を切り替えます。
[複数カメラ表示] の場合には、▦ ボタンをクリックすると、サブカメラの再生場所を移動できます。

※ サブカメラ (オプションサブカメラ)で録画を行っていない場合、[複数カメラ表示] は選択できません。

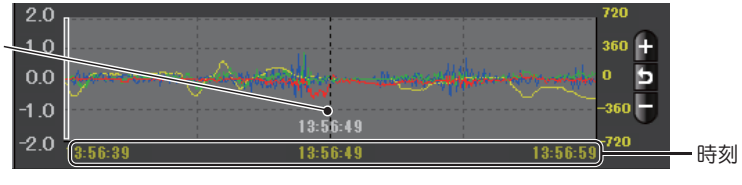
< 1 画面表示>

< 16 分割表示>

<複数カメラ表示>

■ 加速度センサー表示は ＋ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、－ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。
↺ ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

・[表示] → [加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小 1] [縮小 2] を選択、操作をしても同様の動作となります。
・エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。

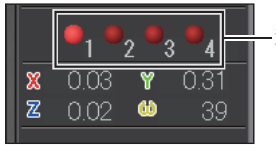


加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

■ 汎用入力情報

・別売品の外部トリガ / 汎用入力ケーブル（OP-WA294）を接続することで、汎用入力情報を記録できます。（☛ P.16）

・信号が入力されると入力された番号が点灯します。



汎用入力表示部

イベント記録のデータ名について

衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

2015/ 1 / 16 19 : 21 : 12 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ （映像を記録するきっかけ）

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急発進 / 急ブレーキ」「急ハンドル」「急旋回」と表示されます。

※ トリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

2. 録画データを再生する（常時録画）

2-1 常時録画をクリックする

2-2 見たい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

2-3 [読み込み] をクリックする

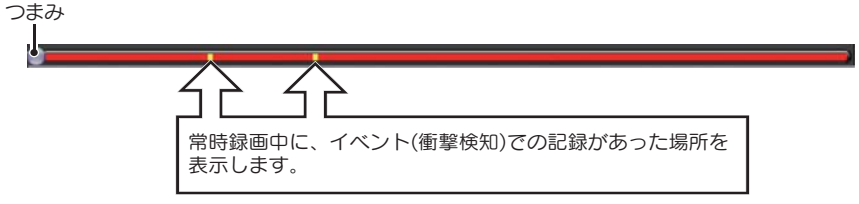
※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル]をクリックし [読み込み]から [常時録画]をクリックしても同じ画面表示になります。

■ 画面表示について

No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント位置（衝撃検知位置）を表示します。

■ つまみをスライドさせ ▶ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。



■ トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。

リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

常時録画のデータ名について

日付、時間、期間がデータ名となります。

2015/ 1 / 16 19 : 21 : 12 20分
年 月 日 時 分 秒 期間 （映像の記録時間）

記録した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

1. バックアップ

SD カードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除 (☛ P.54) を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に☑を入れ、[読み込み] をクリックする

1-2 (バックアップ)をクリックする

※ [ツール]をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ [全てバックアップ] に ☑ を入れると SD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-3 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

1-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは、[OK] をクリックします。

※ PC Browser タイプで保存した場合フォルダ内に「バックアップ年月日 _ バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日 _ データ時刻 .bak」ファイルが作成されます。

2. 動画変換

記録されたデータを AVI 形式の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像をみる
動画変換して保存したファイルはMicrosoft Media Player Ver12.0以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み] をクリックする

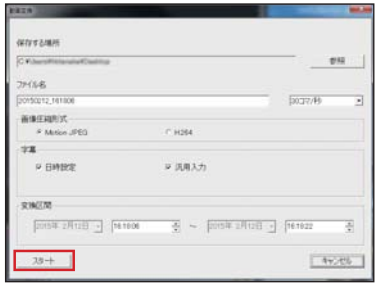
※ サブカメラが同時に記録されている場合、動画がメインカメラ、サブカメラで作成されます。

2-2 (動画変換)をクリックする

※ [ツール]をクリックし、[動画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

2-3 お好みのファイル名や保存する場所、範囲、字幕、圧縮形式の項目を指定し、[スタート] をクリックする

[日時設定] など、各項目に☑を入れると、保存ファイルに字幕で各情報を表示します。



※ 画像圧縮形式を [H.264] にした場合、字幕は保存されません。

2-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

[OK] をクリックすると動画変換の画面に戻ります。指定した保存先に ＊ .avi ファイルが保存されます。

※ ＊部には、映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称が入ります。

2-5 終了するときは [閉じる] をクリックする

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。
保存先を指定し、[表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択します。

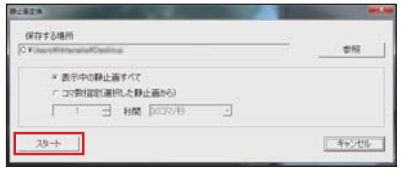
静止画変換した映像をみる
静止画変換し JPEG 形式で保存した画像は Windows の標準ソフトで見ることができます。

3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み] をクリックする

3-2 (静止画変換)をクリックする

※ [ツール]をクリックし、[静止画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

3-3 [表示中の静止画すべて]、または [コマ数指定] を選択し、お好みの保存先を指定し、[スタート] をクリックする



・**表示中の静止画像すべて**
1 画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。

・**コマ数指定 (選択した静止画から)**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

＜秒間＞
範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。

＜コマ / 秒＞
1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (☛ P.49)が反映されます。
※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

3-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

[OK] をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。

3-5 終了するときは [閉じる] をクリックする

記録した映像を印刷する

1. 記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1-1 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に ☑ を入れ、[読み込み] をクリックする

※ 表示エリアの操作 (☛ P.36)で映像を回転させると、回転した状態の映像を印刷できます。

1-2 印刷をクリックする

※ [ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

1-3 [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択する

・**表示中の静止画すべて**
表示エリアの映像を印刷します。16 分割で表示されているときは、表示されている 16 枚の印刷を行います。

・**コマ数指定**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (☛ P.49)が反映されます。
※ 印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-4 [確認] をクリックする

・**印刷**
印刷枚数を選択します。[OK] をクリックすると印刷を行います。

・**プリンタ設定**
印刷するプリンタの設定を行います。

・**1 コマ表示**
1 枚に 1 コマの映像データを表示します。

・**4 コマ表示**
1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

1-5 終了するときは [閉じる] をクリックする

履歴記録を見る

1. 履歴記録を見る

本機の電源が入っている間に設定した時間分（☛ P.49）の履歴（ログデータ）を SD カードに保存します。

※ 初期値では [---]（OFF）に設定されています。（☛ P.49）
※ 合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

1-1 [履歴記録] をクリックする

1-2 データ名の一覧より、見たい録画データ名に ☑ を入れる

※ 複数のデータを選択できます。
※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☑ が表示されます。

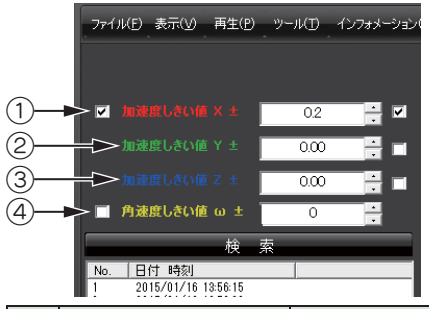
1-3 [読み込み] をクリックする

■ 画面表示について

No	表示名	表示の意味
①	検索	加速度の値を設定し、検索することができます。
②	データ情報（記録開始時刻、時刻）	映像の記録日などの情報を表示できます。

■ 検索

履歴の中から設定した値を越える衝撃（加速度）の映像を検索でき、データとして表示します。

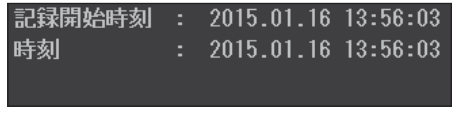


・☑ を入れ、任意の数字を入力してください。
・検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No	表示名	表示の意味
①	加速度しきい値 X ±	検索したい前後方向の値を設定します。
②	加速度しきい値 Y ±	検索したい左右方向の値を設定します。
③	加速度しきい値 Z ±	検索したい上下方向の値を設定します。
④	角速度しきい値ω±	検索したい回転方向の値を設定します。

■ データ情報

読み込まれたデータ名の記録開始時刻、表示している周囲の時刻を表示します。

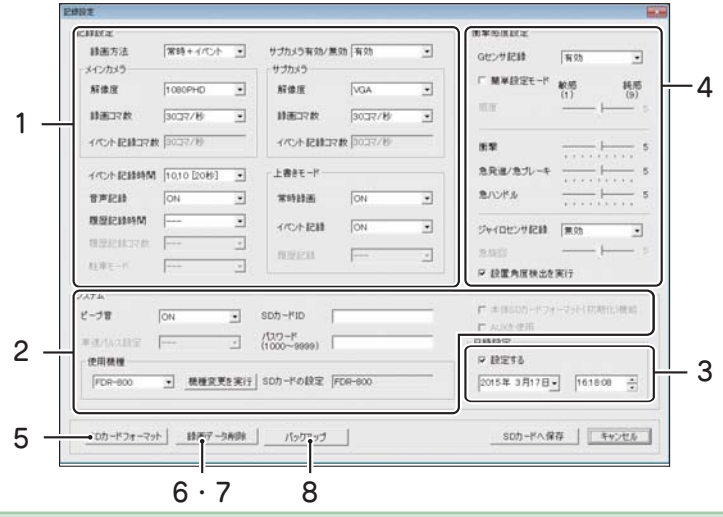


・**時刻**
データ情報や録画データ名等には、本体に内蔵されている時計の時間が用いられます。

設定を変更する

設定を変更する前に、「使用機種（☛ P.50）」の「SDカードの設定」が「FDR-800」になっているかを確認してください。

※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。



設定変更を行う場合は必ず SD カードを SD カードリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。
SD カードを本機に戻し、本機の電源が ON すると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。

1. 記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化や録画データのバックアップ、SD カードからの録画データの削除を行うことができます。

※ [ツール]をクリックし [記録設定]をクリックしても同じ画面表示になります。

■録画方法

録画する方法を [常時録画][イベント記録][常時 + イベント] から選択できます。

※ 初期値は [常時 + イベント] に設定されています。

常時録画	エンジン始動時からエンジン停止直前までの映像をＳＤカードに記録します。（30 コマ / 秒、1080P HD）で、同梱品のＳＤカード（8 ＧＢ）に約 120 分の常時録画が可能です。 ※ [常時録画] に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
イベント記録	衝撃を検知した場合に映像を記録します。
常時＋イベント※1	常時録画を行いながら衝撃を検知した場合、映像を別のデータで記録します。

※ 1: メインカメラを「解像度:[1080P HD]、録画コマ数:[30 コマ / 秒]」に設定し、サブカメラを「[有効]、解像度：[1080P HD]」に設定した場合、録画方法の [常時＋イベント] は選択できません。

※ 1:「イベント記録コマ数」が表示されます。

記録形式変更時の注意

すでに SD カードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合（[常時録画] から [イベント記録] への変更など）は、SD カードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。
設定を変更する場合は、SD カードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。（☛ P.42）
削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■解像度

記録する映像の解像度を選択できます。

※ 初期値は [1080P HD] に設定されています。

解像度	1080P HD(1920 × 1080)、1080P(1440 × 1080)、720P(1280 × 720)、VGA(640 × 480)

■録画コマ数

記録する映像のコマ数を選択できます。

※ 初期値は [30 コマ / 秒] に設定されています。

録画コマ数	30,15,10,5,1 コマ / 秒、2,1 コマ / 分、12,6 コマ / 時※1

※ 1: メインカメラの録画コマ数を[2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1 コマ / 秒]になります。

■イベント記録時間

イベント記録時間を設定します。
衝撃検知前の時間（秒）と衝撃検知後の時間（秒）の組み合わせを選択できます。

※ 初期値は [10,10 [20 秒]] に設定されています。

※ オプションサブカメラを [有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。詳細は ☛ P.60 を参照してください。

イベント記録時間	60 秒(30,30)(40,20)(50,10)、50 秒(30,20)(25,25)(40,10) 40 秒(20,20)(25,15)(30,10)、30 秒(18,12)(20,10)(25,5) 20 秒(10,10)(12,8)(15,5)

■音声記録

音声も記録する場合に [ON] にします。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

■履歴記録時間

24 時間、168 時間、480 時間、---(OFF)のログ (加速度 / 時間) を記録します。

※ 初期値は [---] に設定されています。

■履歴記録コマ数

1 秒間に記録する履歴記録のコマ数を [1 コマ / 秒][2 コマ / 秒] から選択できます。

※ 初期値は [1 コマ / 秒] に設定されています。

■サブカメラ

別売品の OP-CM201WP を接続し、録画を行う場合 [有効] にします。
解像度・録画コマ数はメインカメラ以下で選択できます。

※ 初期値は [無効] に設定されています。
※ サブカメラ設定を [有効]にした場合、イベント記録時間がメインカメラのみで記録した場合と異なります。
(☛ P.60)

■上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの映像や履歴の保存方法を選択できます。
[ON] または [OFF] から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。
OFF	容量がいっぱいになると映像は保存されません。

※ 初期値はすべての録画方法で [ON] に設定されています。

2. システム

■ビープ音

イベント記録時のビープ音の ON/OFF を設定できます。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

■ SD カード ID

SD カード ID を設定できます。SD カード ID と本機 ID をログに書き込むことで SD カードと本機の管理に役立てることができます。

■パスワード

設定を変更できないように、パスワードを設定できます。(1000 ～ 9999 の 4 桁)

■使用機種

使用する機種を選択できます。

※ 操作手順は、 ☛ P.28「手順 1-2」を参照してください。

3. 日時設定

■設定する

□に ✔ を入れ、日付や時刻を設定できます。

※ 本機の電源 ON すると SD カードから読み込み、日時を修正します。
現在時刻ではなく、次に本体を電源 ON する日付や時刻を想定して設定してください。また、時刻がずれる場合がありますので定期的に行ってください。

4. 衝撃感度設定

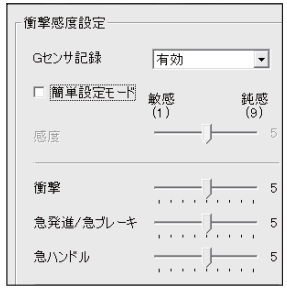
■ G センサ記録

G センサー記録の [有効]、[無効] を切り替えます。(☛ P.15「G センサー記録」)

※ 初期値は [有効] に設定されています。
※ [有効] にした場合、[常時録画] に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。
※ [無効] にした場合、すべての録画方法において、G センサー記録を行いません。

■簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。
敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は [5] に設定されています。



感度レベル	動作・使用条件
1（敏感）	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
	標準設定（基本的に事故のみを記録）
9（鈍感）	悪路で反応する場合

※ 車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

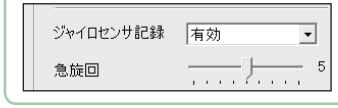
簡単設定モードの ☑ を外すと衝撃、急発進 / 急ブレーキ、急ハンドルの各感度を敏感～鈍感までの 9 段階から個別に設定できます。

■ジャイロセンサ記録

ジャイロセンサー記録の [有効]、[無効] を切り替えます。(☛ P.15「ジャイロセンサー記録」)

※ 初期値は [有効] に設定されています。
※ [有効] にした場合、[常時録画] に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。
※ [無効] にした場合、すべての録画方法において、ジャイロセンサー記録を行いません。

衝撃感度を選択できます。
敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は [5] に設定されています。



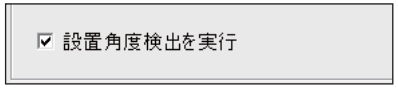
各設定を終えたら[OK]をクリックします。
「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK]をクリックしてください。

・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴る)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

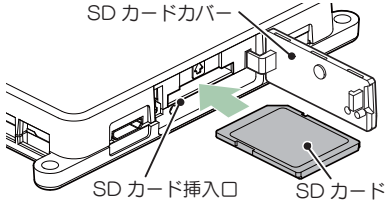
■設置角度検出を実行

センサユニットを初めて取り付けたときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。

4-1 [設置角度検出を実行] に ☑ を入れ [SD カードへ保存] をクリックする



4-2 設定済みの SD カードを本機に挿入する



・SD カードを挿入するときは…
SD カードの抜き差しは、電源 OFF 後 10 秒以上経ってから行ってください。
☛ P.11「SD カードの装着 / 取り外し」

SD カードカバーはしっかり閉めてください。閉まっていないと設置角度検出が開始できません。

4-3 車両のエンジンを ON する

設置角度検出を行うため車両を 10 秒間移動させないでください。

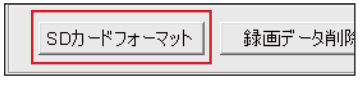
※ 設置角度検出は、平らな場所で行ってください。
※ [設置角度検出を実行] の ☑ は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、☑ を入れる必要はありません。

5. SD カードフォーマット

一度 SD カード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

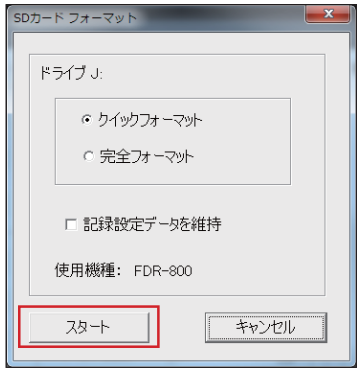
※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。
※ 必ず SDHC 規格に対応した SD カードリーダーライターや SDHC 規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC 規格に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

5-1 [SD カードフォーマット] をクリックする



※ [ツール]をクリックし、[SD カードフォーマット]をクリックしても同じ画面表示になります。

5-2 フォーマットの設定をし、[スタート] をクリックする

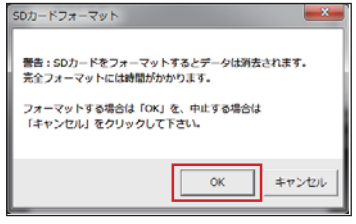


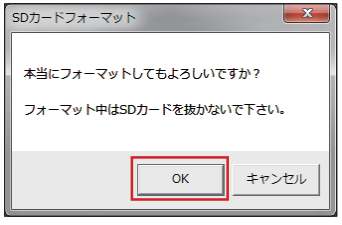
・**クイックフォーマット**
短時間でフォーマットを行います。

・**完全フォーマット**
完全にフォーマットを行います。
※ クイックフォーマットよりも時間がかかります。

・**☑ 記録設定データを維持**
SD カードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
☑ を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

5-3 [OK] が表示される



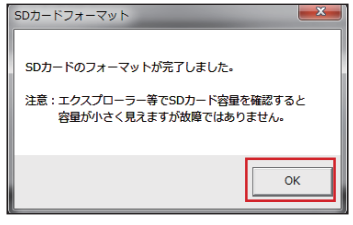


上の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

さらに上の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止する場合は [キャンセル] をクリックします。

5-4 [OK] をクリックする

フォーマットが完了します。



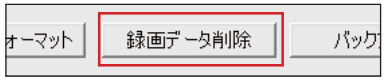
6. 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると［録画データ削除］と［記録設定データ初期化］が選択画面に表示されます。

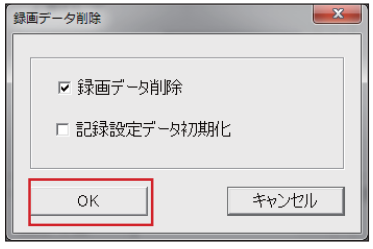
- SD カード内に記録されたデータを削除します。
- いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。（☛ P.42）

■録画データ削除

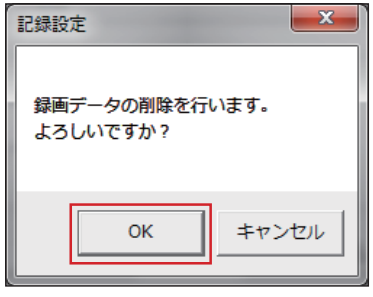
6-1 ［録画データ削除］をクリックする



6-2 ［録画データ削除］に ☑ を入れ [OK] をクリックする



6-3 [OK] をクリックする



6-4 [OK] をクリックする

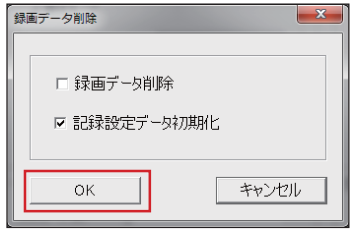
記録設定画面に戻ります。

7. 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

7-1 ［記録設定データ初期化］に ☑ を入れ [OK] をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



7-2 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

8. バックアップ

SD カードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ 操作手順は、☛ P.42 を参照してください。

インフォメーション

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

■ ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

※ 画面右上の Yupiteru をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

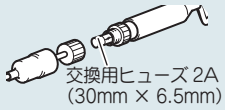
故障かな？と思ったら

電源が入らない

☐ **電源ケーブルが外れていないか確認してください。**

☐ **ヒューズケーブルのヒューズが切れていないか確認してください。**

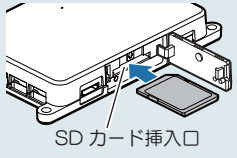
切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。(☛P.18)



映像が記録できない

☐ **同梱品の SD カードが正しく挿入されていますか。**

同梱品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、同梱品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(☛P.11)



☐ **記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。**

上書きモードが OFF の場合上書きができません。
SD カードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。(☛P.50)

記録した映像が映らない

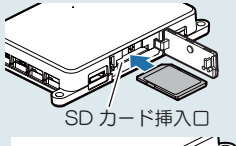
☐ **専用ソフトがインストールされていますか。**

同梱品の SD カード内に保存されている専用ソフトをインストールしてください。(☛P.24)

本機から『ピー』と警告音が鳴る

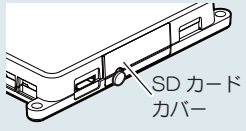
☐ **同梱品の SD カードが正しく挿入されていますか。**

同梱品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、10 秒経ってから同梱品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(☛P.11)



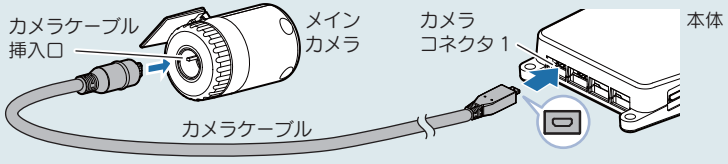
☐ **SD カードカバーがしっかり閉まっていますか。**

SD カードカバーが開いている状態では録画ができません。
しっかりと SD カードカバーを閉めてください。



☐ **メインカメラが本体に正しく接続されていますか。(メインカメラのみ使用時)**

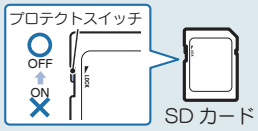
メインカメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、メインカメラをカメラケーブルで正しく接続してください。
※カメラコネクタ 1 にメインカメラが接続されていない場合、録画できません。同梱品のカメラケーブルとメインカメラを必ず取り付けてください。
※オプションサブカメラ併用時は、両方のカメラが正しく接続されていない場合に『ピー』と警告音が鳴ります。正しく接続されているか確認してください。



本機から『ピーピーピー』と警告音が鳴る

☐ **SD カードのプロテクトスイッチが ON(書き込み禁止) になっていませんか。**

車両のエンジンを OFF にして、同梱品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にして、再度正しく挿入してください。



☐ **本機専用以外の SD カードが挿入されていませんか。**

同梱品の SD カードもしくは別売品の SD カードを挿入してください。(☛P.10)

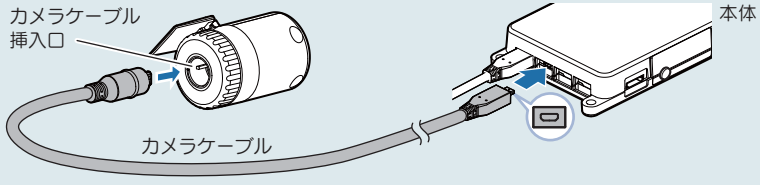
本機から『ピピピピピ』と警告音が鳴る

☐ **センサユニットが本体に正しく接続されていますか。**

センサユニットが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、センサユニットを本体のセンサユニットコネクタに正しく接続してください。
※専用ソフトの設定が「G センサ記録：[無効]、ジャイロセンサ記録：[無効]」になっている場合、センサユニットが接続されていなくても警告音は鳴りません。

☐ **どちらかのカメラが本体に正しく接続されていますか。(オプションサブカメラ併用時)**

どちらかのカメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、カメラをカメラケーブルで正しく接続してください。
※専用ソフトの設定が「サブカメラ：[無効]」になっている場合、オプションサブカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。



SD カードに録画データが保存されていない

☐ **録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトで SD カードをフォーマットしてください。(☛P.52)**

☐ **SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。**

同梱品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

録画データの日付や時刻がずれる

☐ **専用ソフト上で「日時設定」を行ってください。(☛P.50)**

イベント記録がうまく働かない

☐ **加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。(☛P.51)**

感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。

☐ **「設置角度検出」を行ってください。(☛P.52)**

センサユニットを初めて取り付けたときや設置場所を変更した場合は、設置角度検出を実行してください。

仕様

電源電圧		DC 12V/24V (マイナスアース車専用)
消費電力		7W (オプションサブカメラ併用時：9W)
カメラ素子		200万画素　カラー　CMOS
視野角※1	メインカメラ／オプションサブカメラ	レンズ画角：対角154.8°(水平 121.3°、垂直 62°) 最大記録画角：対角154.8°(水平 121.3°、垂直 62°)
記録解像度	メインカメラ／オプションサブカメラ	200万画素
画像サイズ	メインカメラ／オプションサブカメラ	1080P HD (1920×1080)、1080P (1440×1080) 720P (1280×720)、VGA (640×480)
画質	メインカメラ／オプションサブカメラ	HDR (ハイダイナミックレンジ)
最低被写体照度		1LUX (ルクス)
記録媒体		SDHC カード (8GB同梱)
記録形式		H.264
フレームレート	メインカメラ／オプションサブカメラ	30,15,10,5,1 コマ／秒、2,1コマ／分、12,6コマ／時
動作温度範囲		-10℃ ～ +60℃
外形寸法	本体	103(W) × 19.4(H) × 70(D) mm (突起部除く)
	メインカメラ／オプションサブカメラ	51(W) × 33(直径) mm (突起部除く)
	センサユニット	29(W) × 6(H) × 17(D) mm(ケーブル部除く)
重量	本体	約100ｇ
	メインカメラ／オプションサブカメラ	約40g (ブラケット含む)
	センサユニット	約66g (接続ケーブル含む)

※ 1: 解像度により記録される視野角が変化します。
　　広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。
※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
　なお、本文中では TM、Ⓡマークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
http://www.yupiteru.co.jp/

映像記録時間の目安

同梱品の SD カード(8GB)の場合、以下のようになります。

※ 下記表は目安で、絶対保障値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画可能時間と件数は変化します。
※ 録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。
※ 16GB の場合は 8GB の 2 倍、32GB の場合は 8GB の 4 倍の録画時間・イベント記録件数になります。

1. 録画時間

※ [常時＋イベント] はおおよそですが、SD カード容量を常時 70%、イベント 30%で使用します。
※ オプションサブカメラを併用した場合、録画時間は記載時間の半分になります。

	1080P HD	1080P	720P	VGA
30 コマ / 秒	120(分)	160(分)	220(分)	380(分)
15 コマ / 秒	240(分)	320(分)	440(分)	760(分)
10 コマ / 秒	360(分)	480(分)	640(分)	1,140(分)
5 コマ / 秒	720(分)	960(分)	1,280(分)	2,300(分)
1 コマ / 秒	1,800(分)	2,400(分)	3,200(分)	5,800(分)
2 コマ / 分	900(時)	1,200(時)	1,600(時)	2,900(時)
1 コマ / 分	1,800(時)	2,400(時)	3,200(時)	5,800(時)
12 コマ / 時	9,000(時)	12,000(時)	16,000(時)	29,000(時)
6 コマ / 時	18,000(時)	24,000(時)	32,000(時)	58,000(時)

2. イベント記録件数

■ 30 コマ / 秒の場合

※ 15 コマ / 秒の場合、記録件数は 2 倍になり、それ以降のコマ数 / 秒では、比例して増えた件数になります。

	1080P HD	1080P	720P	VGA
イベント記録時間前後の合計 60(秒)	120(件)	160(件)	220(件)	400(件)
イベント記録時間前後の合計 50(秒)	150(件)	200(件)	270(件)	500(件)
イベント記録時間前後の合計 40(秒)	180(件)	240(件)	320(件)	600(件)
イベント記録時間前後の合計 30(秒)	240(件)	320(件)	420(件)	800(件)
イベント記録時間前後の合計 20(秒)	360(件)	480(件)	640(件)	1,200(件)

オプションサブカメラ併用時のイベント記録時間

オプションサブカメラを[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。

※ オプションサブカメラの解像度・録画コマ数は、メインカメラの設定値以下で選択できます。

全てのイベント記録時間	60 秒 (30,30)(40,20)(50,10)、50 秒 (30,20)(25,25)(40,10)、40 秒 (20,20)(25,15)(30,10)、30 秒(18,12)(20,10)(25,5)、20 秒(10,10)(12,8)(15,5)

■ イベント記録

メインカメラの解像度	メインカメラの録画コマ数	選択可能なイベント記録時間
1080P HD (1920 × 1080)	[30 コマ / 秒]	60 秒 (30,30)、50 秒 (30,20)(25,25)、40 秒(20,20)(25,15)、30 秒(18,12)(20,10)、20 秒(10,10)(12,8)、
	[15 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
1080P (1440 × 1080)	[30 コマ / 秒]	60 秒 (30,30)(40,20)、50 秒 (30,20)(25,25)、40 秒(20,20)(25,15)(30,10)、30 秒(18,12)(20,10)、20 秒(10,10)(12,8)(15,5)
	[15 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
720P (1280 × 720)	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
VGA (640 × 480)	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間

■ 常時 + イベント

メインカメラの解像度	メインカメラの録画コマ数	選択可能なイベント記録時間
1080P HD (1920 × 1080)	[30 コマ / 秒]	40 秒(20,20)、20 秒(10,10)
	[15 コマ / 秒] [10 コマ / 秒]	60 秒(30,30)、50 秒(30,20)(25,25)、40 秒(20,20)(25,15)(30,10)、30 秒(18,12)(20,10)、20 秒(10,10)(12,8)
	[5 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
1080P (1440 × 1080)	[30 コマ / 秒]	40 秒(20,20)、20 秒(10,10)
	[15 コマ / 秒]	60 秒(30,30)、50 秒(30,20)(25,25)、40 秒(20,20)(25,15)(30,10)、30 秒(18,12)(20,10)、20 秒(10,10)(12,8)
	[10 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
720P (1280 × 720)	[30 コマ / 秒]	40 秒(20,20)、20 秒(10,10)
	[15 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
VGA (640 × 480)	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間

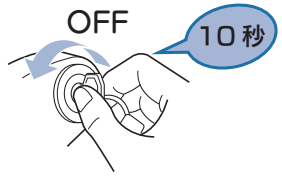
+ (プラス)ネジに変更する

SD カードカバーのキャップは、お客様の必要に応じて同梱品の + (プラス) ネジと交換が可能です。

1. + (プラス)ネジを取り付ける

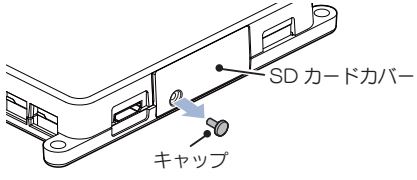
1-1 車両のエンジンを OFF にする

エンジンを OFF にしてから 10 秒間待ちます。



※ エンジンを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。エンジンを OFF 後 10 秒以上経ってから行ってください。

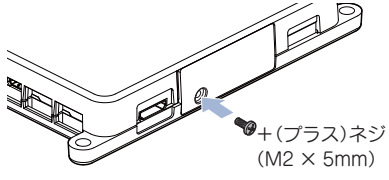
1-2 キャップを外す



※ キャップは完全に分離しますので紛失に気を付けて大切に保管してください。

1-3 ネジを締める

同梱品の+ (プラス) ネジを市販品の+ (プラス) ドライバーで取り付けます。



アフターサービス

●保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器
本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール **0120-998-036**

MEMO